

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第4区分

【発行日】平成19年6月14日(2007.6.14)

【公開番号】特開2005-327365(P2005-327365A)

【公開日】平成17年11月24日(2005.11.24)

【年通号数】公開・登録公報2005-046

【出願番号】特願2004-143757(P2004-143757)

【国際特許分類】

G 11 B 7/08 (2006.01)

G 11 B 7/09 (2006.01)

G 11 B 7/22 (2006.01)

【F I】

G 11 B 7/08 Z

G 11 B 7/09 D

G 11 B 7/22

【手続補正書】

【提出日】平成19年4月26日(2007.4.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

光記録媒体に光ビームを集光する対物レンズを搭載し、前記光記録媒体のフォーカシング方向及びトラッキング方向に移動可能に支持された可動体と、前記可動体に搭載された対物レンズのフォーカシング制御及びトラッキング制御を行う駆動手段とを有する対物レンズアクチュエータにおいて、前記可動体に前記対物レンズの光軸方向の位置決めをする対物レンズ載置面と、前記対物レンズの外径を位置決めする対物レンズ嵌合部と、前記対物レンズの光束径を決める開口部と、前記対物レンズを固定する接着剤溜り部とが形成され、前記対物レンズ嵌合部は対物レンズ中心から等距離で且つ対物レンズ外径を等分する位置に少なくとも3箇所に設けられており、前記接着剤溜り部に接着剤を注入することによって前記対物レンズを前記可動体に固定することを特徴とする対物レンズアクチュエータ。

【請求項2】

前記対物レンズ載置面の外周に設けられた接着剤溜り部は半円筒形状に形成され、その光軸方向の底面は前記対物レンズ載置面より高い位置に形成されていることを特徴とする請求項1に記載の対物レンズアクチュエータ。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

本発明は、上記目的を達成するため、光記録媒体に光ビームを集光する対物レンズを搭載し、前記光記録媒体のフォーカシング方向及びトラッキング方向に移動可能に支持された可動体と、前記可動体に搭載された対物レンズのフォーカシング制御及びトラッキング制御を行う駆動手段とを有する対物レンズアクチュエータにおいて、前記可動体に前記対

物レンズの光軸方向の位置決めをする対物レンズ載置面と、前記対物レンズの外径を位置決めする対物レンズ嵌合部と、前記対物レンズの光束径を決める開口部と、前記対物レンズを固定する接着剤溜り部とが形成され、前記対物レンズ嵌合部は対物レンズ中心から等距離で且つ対物レンズ外径を等分する位置に少なくとも3箇所に設けられており、前記接着剤溜り部に接着剤を注入することによって前記対物レンズを前記可動体に固定することを特徴とする。